

まち∞未来ミーティング(岸本保健福祉センター) 意見記録

開催日時	令和 7 年 7 月 24 日(木)		19 時～20 時 40 分	開催場所	岸本保健福祉センター
参 加 者	伯耆町	8 名			
	住民	8 名			
概 要	・ 町制 2 0 周年記念映像の視聴・ 町長から町政提案説明・ 意見交換				

(参加者意見及び町側回答)

No	参加者意見	町側回答等
農 業	農業について、大規模・担い手農家には支援が手厚いが家族経営(兼業)農家には支援が少ないのでは。	国の事業として町が上乘せ等をして補助しているケースがあるが、家族経営農家には補助が少ないと同様の声をいただいている。今後検討していきたい。
	農業政策について、当面の策として対応しているが、将来どのように考えているのか？ 提案を受けることが必要なのでは？	補足として、現在は、農業共済の保険金支援などは行っている。
	農業政策について、農業公社の設立などとはどうなのか(県外ではやっているが・・・) 平地だと作業しやすいかもしれないが、斜面など農地の状況によっては難しいのでは。	農業について、今後10年でさらに状況が変わると考える。それまでの取り組みが重要と考える。 農業公社は以前あったが、運営は難しかった。
	認定農業者などは支援が大きいですが、家族農家に対しては支援が少ない。 農機の共同利用の補助があるが、その補助率を上げてみてはどうか？個人への補助というより共同利用を行う組織への助成は手厚くしてもよいのでは？ 農業政策については、町単独で事業を行うのは難しい。国家事業だと思うので、国がもっとすべきでは？	個人への補助は制度設計をしっかりとしたうえで検討しないといけない。何よりも財源を検討することが肝要。 自営業でも商工業など様々な業種があるなか、個人経営の農業のみに補助するのは、役所としてなかなか難しい。

No	参加者意見	町側回答等
教育	伯耆町の底力、ポテンシャルなど伯耆町の良さはたくさんあるが、伯耆町民はあまり知らないのでは。 保護者・子供たちにも「伯耆町の良さ」を伝えていく必要性があるのでは？ 現在も行っているが、もっと行う必要があるのでは。 伯耆町の教育のポテンシャルは	コミュニティスクールとして、地域の人との関わりを深め、総合的な学習の中で地域の良さを伝える学習を行っている。
	子供たちが町外に出て、伯耆町に帰ってくる魅力、体験などは何だろう。 そこについて聞いてみたい。 どうやってこの「帰ってくる魅力」を作っていくのか？	「ここがふるさと」と思えるのは、地域の人とのコミュニケーションや、つながりを感じることが大切。 宅地状況や子育て支援などさまざまな条件があるが、それだけではなく、地域の良さを学んでおく、体験しておくことなどを行わないと、この地域に帰ってくる選択肢に残らないのでは。 学校と地域とのつながりは大事だと考える。
	地元に帰ってくるためのコミュニティ学習だけではなく、町外に出てしまった子供たちが「伯耆町はいいところ」と言える営業マンになるような視点も大事だと思う。	関係人口を増やすという視点で、とても大事だと考える。
	他の市町村の方が言われるには、「伯耆町は教育環境が良い」と言われている。理由はわからないが、実際、岸本小学校の児童数は増えているので、良いのでは。と思っている。 さらに良い環境をさらに向上させてほしい。	実際に岸本小学校の児童数は増えている。町全体で出生数より入学時の児童数が増えている現状がある。
観光	大山の観光についても、地元住民にとっては当たり前前の風景だが、伯耆町から見る大山はとてよく、観光資源となるのでは	みるくの里周辺においては、現在無電柱化を進めている。

No	参加者意見	町側回答等
	大山について、ダイヤモンド大山も伯耆町で見える。町外の方はよく写真を撮りに来られるが、よく周知されるのは、他市町のみ。 もっと、伯耆町から見る大山の良さを周知してもよいのでは。 写真美術館からの見える場所の無電柱化などを行ってはどうか。	
空 き 家 対 策	空き家対策を積極的に進めてほしい。通学路でも危険な空き家がある。 どこの集落でもあるのでは？	危険空き家等には補助制度を設けて行っているが、役場も困っている。 家屋の所有者(相続人)などの協力が非常に重要。非協力的だと事業が進まない。 役場が強制的に行っても、費用の改修が難しい。
	外部から空き家がないのかという問い合わせがあるのか？	空き家バンクは作っていない。 不動産業者にお願いしている。
	どういった物件があるのかということを町が情報提供すべきでは。町が今後する予定は。	空き家情報については情報収集しているが、貸し出してよい空き家については情報収集を行っていない。 今後、検討する予定。
	空き家の利活用は、地域おこし協力隊制度などを活用し、業者と連携しながら行う必要があるのでは。 他自治体は空き家を購入し、改修して貸付を行って利益を上げている自治体がある。 空き家の利活用について、仕組みを作って行うことについて、できないことはないが、常に確認するなどどの程度役場が業務負担をしていくのか課題となると思う。	役場として、実際に貸し出す際に情報提供する空き家情報については、その時点に利用できるかどうかの情報収集をする必要がある。 今時点空き家がある。という情報収集では足りない。 貸し出す事を前提とした場合、常時状況を確認しつつ、最終的な売買の契約等は不動産業者に依頼しなければならず、他自治体でも空き家を何件も把握し、年間何件取引があるのかということも踏まえて、今後検討する必要がある。 空き家については、今年度調査を予定している。今までの危険空き家を把握するための調査から一歩踏み込んだ調査を予定している。 その結果をもって、今後の対応について方針を定めていく予定です。 詳細の対応については、その後となる。

(提案・その他意見等)

No	参加者意見
観 光	大山について、正面登山道など整備を進めるとより活性化されるのでは。 自然環境への影響や安全性などさまざまな課題がありつつも、整備できれば、大山町と共に大山の魅力を発信することができ、伯耆町の観光の起爆剤にでもなるのでは？ この取り組みを進めていきたい。
行 財 政	伯耆町が変わらなくてもいいという意見もあるが、夢をもって町全体が楽しくなるような取り組みが必要なのでは。
交 通	殿河内なども高齢者が多く、近くにスーパーがあるが、そこに行くことも難しい。ただ、歩行器やシニアカーなどが使いづらく、利用している方が少ないため改善をしてほしい。 また、デマンドバスの利用もしてなく、利用しやすい環境を作ってほしい。
公 園 整 備	幡郷地区は公園がなく、孫などを連れていく場所がない。 やはり、住宅など作る際にそれぞれが建築しているので、都市計画など作る必要があるのでは。 なかなか集落で用地を用意することができない。地価もある程度あり、区費も限られているため、公園用地として準備ができない。
集 落	集落も従来の方と新たに來られた方との課題意識が乖離している。 日常的には不便を感じてないが、(一人暮らしになった場合など)状況が変わったときに感じている。 地域のコミュニティーが希薄になっている。 そして、今、地域のリーダーがいない。 地域のリーダーがいるところは活性化している。 地域が過渡期になってきており、もう一度盛り上がるようになることが必要